

岡山県代協

昨年度末会員数は277名に

通常総会と暴力追放大会を開催



総会のもよう

岡山県損害保険代理業協会（歳森宏会長）は5月24日、岡山市北区のアークホテル岡山で第62回通常総会ならびに第41回暴力追放大会を開催した。

新年度は新体制でスタート

通常総会開催にあたって冒頭、歳森会長から挨拶があった。

「昨年度を振り返ってみるとコンプライアンスが重要視される1年でした。ビッグモーターやカルテルなど消費者であるお客さまより厳しい声を受け、業界全体が慣例に感嘆されることなく、初心に帰ることを痛感させられた1年であったと思います。また、1月に起きた能登半島地方の震災では保険の重要性、第一線に立つ私たち代理店の役割、責任の重さを認識する1年でもありました。このためにこれからも代理店の資質向上のツールとしてのトータルプランナーの育成、定着や日本代協アカデミーの情宣など、代理店としての魅力づくりをしていかないと感じています。今日、岡山県代協も新しい体制でスタートします。どうか

新しい力にご期待いただきとともに、変わらぬ支援をお願いいたします。谷川明義会長から会長職を引き継ぎ、丸6年になりました。この間、理事や顧問、役員、関係者、多くの皆様に助けていただきました。すべての皆様に感謝いたします。」その後、来賓あいさつ、新入会員の紹介があり、第1号議案（2023年度事業報告承認の件）、第2号議案（2023年度収支決算報告承認の件）、第3号議案（理事・監事承認の件）、第4号議案（2024年度会費額承認の件）、第5号議案（2024年度事業計画承認の件）、第6号議案（2024年度収支予算承認の件）がそれぞれ承認された。

引き続き、石川明末氏（株式会社ブレンネットワーク取締役）が「今、もう一度SDGsに向きあってみませんか」というテーマで、個々の保険代理店が身近にかつ簡単に取り組めるSDGsにかかわる課題について約1時間講演し、総会は終了した。



横田新会長

未来に向けて参加したくなる組織をしっかり作っていくの3つを柱として、岡山県代協のさらなる

活性化に向けて取り組んでいく」と、決意を表明した。ちなみに、同協会の会員数は2024年3月31日現在、277名となっている。休養をはさみ、暴力追放地方大会が開催された。岡山県損害保険代理業協会暴力追放協議会は昭和57年9月に全国に先駆けて発足し、さらに昭和

62年6月には下部組織として県内警察署単位に支部を組織し、損害保険制度をめぐる暴力団等の不当介入、不当請求の排除活動に取り組んできた歴史がある。当日も岡山県警本部、岡山県暴力追放運動推進センター、中国財務局岡山理財事務所、岡山県弁護士会、損保各社の担当者等関係者多数が参加しての開催となった。開会にあたり横田好雄会長が会員ならびに関係者のさらなる団結であらゆる場から暴力を追放していく旨の決意を表明した。

その後、岡山県警本部刑事部司式犯罪対策第一課の芝原哲也暴力団排除対策官が「最近の暴力団情勢について」、同交通部交通指導課の中原志朗課長補佐が「交通事故・保険金詐欺の現状について」のテーマでそれぞれ講演、暴力追放宣言を行い終了した。